

令和5年度第1回鹿児島市DX推進委員会 概要

- 日 時 : 令和5年8月1日(火) 9:30~10:40  
 場 所 : 鹿児島市役所 東別館11階 1101会議室  
 出席者 : (推進委員会委員) 出席10名 ※別紙のとおり  
 (事務局) DX推進部長、CIO補佐官、デジタル戦略推進課長 他2名
- 会次第 : 1 開会  
 2 DX推進部長あいさつ  
 3 委員紹介  
 4 委員長及び副委員長の選出  
 5 報告事項  
 (1) 鹿児島市デジタル推進の優先取組事項  
 (2) 鹿児島市DX推進計画の進捗状況について  
 (3) 令和5年度デジタル田園都市国家構想交付金の交付決定事業について  
 (4) ICTで住みよいまち推進基盤の構築について  
 (5) 鹿児島デジタルスマートシティ推進協議会設置に向けた検討について  
 6 閉会

議事概要 : 以下のとおり

発言者	発言内容
<p>【会次第5 報告事項】</p> <p>(1) 鹿児島市デジタル推進の優先取組事項                      (2) 鹿児島市DX推進計画の進捗状況について                      (3) 令和5年度デジタル田園都市国家構想交付金の交付決定事業について                      (4) ICTで住みよいまち推進基盤の構築について                      (5) 鹿児島デジタルスマートシティ推進協議会設置に向けた検討について</p>	
事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>「資料1」から「資料6」に基づき説明</li> </ul>
	<p style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">質疑等</p>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>進捗率が200%を超えているものがあるが、目標値の設定として妥当だったのか。</li> </ul>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>妥当だったと考える。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>先ほどの説明の中で、マイナンバーカードに紐づくID導入の話があったが、個人情報の漏洩等ないように取り組みを進めてほしい。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>DXを推進する上で、セキュリティ対策は常に意識して取り組みを進めてほしい。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>基本方針3のICTリテラシーの向上について、高齢者へのデジタルツールの</li> </ul>

発言者	発言内容
	<p>勉強会等実施していること自体は非常に大事な取り組みだと思うが、実際、高齢者がデジタルツールが使えない訳ではなく、使っているけど操作方法が分からない等、問題点が個人個人で違うと思う。例えば、文字変換ができないとか、全角と半角の入力方法が分からなくてデジタルツールの使用を諦めることが問題だと思う。高齢者のICTリテラシーの向上のために現在市で取り組んでいるような講座を実施することは大事だと思うが、例えば、地域に住んでいる学生や若者が高齢者に教えるような仕組みをつくっていくことも大事なのではないか。行政が情報を発信するだけでなく、仕組みをつくることも大事だと考える。</p>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・現在、デジタルディバイドの解消対策として、スマートフォンの初期入門のような講座を地域で行っているが、委員がおっしゃられたような仕組みをつくることで、地域の絆が生まれてくると思うので、参考にさせていただきたい。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・委員の意見のとおり、ハードの取り組みだけでなく、ソフトの取り組みも重要だと思うので、検討をお願いしたい。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ICT活用による子ども見守り事業について、非常にいい取り組みだと感じた。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・実施校を限定しているのは、何か意味があるのか。</li> </ul>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今年度は実証実験として実施する。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市民のICTリテラシーの向上について、基礎講座は平日の昼間に行っているのか。</li> </ul>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平日に行っている。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・仕事などで事業者向けの支援やパソコンの基礎講座を行うことがあるが、40代の方から「SNSが難しい」などの声があがっている。20代・30代の方々は学校でICTについて学んだことがあると思うが、40代・50代の方々は意外とICTについて学んでいない方が多く、狭間の世代だと感じるので、40代・50代向けの夜間講座など検討してほしい。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・県外から引っ越した時の転入・転出の手続きについて、転出の手続きについては、マイナンバーカードがあればオンラインで手続き可能だが、転入手続きは市役所に行かないとできない不便さがある。</li> <li>・転入手続き後に住民票を使用するケースが多いとを感じるが、転入手続きした日に住民票をコンビニでとることができないので、不便を感じる。</li> </ul>

発言者	発言内容
事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・水道代の支払いについて、請求書払いと口座振替払いしか鹿児島市はできない。また、口座振替払いの口座も、限られた金融機関しか対応していないので不便さを感じる。</li> <li>・市バスのタッチ決済について、タッチ決済できる車両とできない車両があったり、バスについても、市バスと民間が運営しているバスの見分けがつかないし、どのバスがどこに行くか分からないので、県外から鹿児島に来た人にとっては、不便さを感じる。都心部では、どのバスがどこにいるか電光掲示板で確認できるので、そういったものがあつたら便利だと感じる。</li> <li>・今話した案件含め、いろいろな取り組みを推進していただきたい。</li> <li>・令和5年度の交付金決定事業について、交付決定額として、金額が示されているが、例えば、「ICTで住みよいまち推進基盤」について、基盤を構築することで、具体的に何がどのくらい便利になるのか、市民の方々のメリットについて詳しく教えてほしい。</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>・今回構築する基盤は、住民との接点をより強化していくことを目的としている。その際に、これまで住民の方がアプリを利用するときに、利用するアプリそれぞれに情報を登録していたものが、マイナンバーカードを利用することで、その人が本人であることが確認できているので、それぞれ情報を登録する必要がなくなる。</li> <li>・これまでの住民接点は、例えば、ホームページなどで行政側が発信する情報を住民が主体的に見に行く必要があった。また、LINEを登録していると、市の情報を受け取ることができるが、それは個人に対してのものではなく、グルーピングされた方に対して送られたものになる。こういったものを、より住民の方に寄り添った情報発信をしていきたいとの思いがあり、基盤を構築する。</li> <li>・その実現方法として、スマートフォンアプリでマイナンバーカードを活用することによって、本人認証することができ、個人の興味・関心事に関する情報の通知ができるようになる。通知を実現するための仕組みとして、バックオフィス側にCRM、住民の方に寄り添った情報を蓄積することによって、住民の方に寄り添ったサービスを提供することができる。</li> <li>・いろんな住民サービスをデジタルで充実させようとする、いろんなアプリケーションが立ち上がってくる。1つで全てを完結することは難しいと思うが、その起点になるようなアプリを構築することによって、様々なアプリをIDを通して連携し、かつ、その活動をCRMでみていくことによって、その人に寄り添ったサービスが提供できるようになる。ただし、オプトインオプトアウトの考え方があるので、情報を開示したくない場合は、開示しないように設定する。行政で管理しているサービスの連携や、民間のサービスを連携させていくことで住民の方が行政だけの枠にとらわれず、生活の中でいろんな利便性を享受できるような基盤を整えていきたいと考えている。基盤のKPIとなるとなかなか評価しづらいこともあり、初年度は基本的なサービスにとどまってしまうが、徐々にサービスを広げていきたいと考えている。</li> </ul>

発言者	発言内容
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 基盤について、うまくいけばと思っており、いい取り組みだと思う。</li> <li>・ 取り組みの中で、SMSでの情報発信との記載があったが、SMSの利用は疑問に思う。</li> <li>・ 防災について、いろいろな取り組みを行っていると思うが、通知がなかなか難しい面があるので、アプリを通じて通知ができればいいのかなと思う。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 防災の話に関連して、先月の大雨で洪水に関する通知が多くあったが、何ほどのくらい危ないのか分からなかったので、そこも含めて具体的に自分が住んでいる地域にどのような危険性があるのかアプリを通じて通知を受け取ることができればいいと思う。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 委員の先ほどの話の中で、転入・転出の話があったが、ワンストップ窓口を政府がやろうとしていると思うが、どのような状況か。</li> </ul>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 窓口DX SaaSという取り組みがあり、本市においても取り組みを開始している。コンセプトの中に「書かない窓口」があり、他都市において実績がある。</li> <li>・ 内容として、職員と住民との対話により、住基情報等確認し、書くことなく住民のニーズにあった帳票を出力し、場合によっては、他の窓口での手続きが必要となるが、基本的にワンストップで処理することができる。</li> <li>・ 先ほど、転入手続きした日にコンビニで住民票がとることができないとの話があったが、住基情報を夜間にバッチ処理している関係で手続きした日にコンビニで住民票をとることができない。</li> <li>・ また、水道の手続きの件について、電子申請で手続きができるよう、来年度の運用開始に向けて、取り組んでいる。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 住民票の取得について、コンビニで取得できるようになり、便利になったと感じる。</li> <li>・ 先日、ある手続きで除籍の書類を提出する必要があり、窓口で何枚必要か、どこに提出するのか聞かれたことがあったが、何枚必要か分からず、最終的に何度か窓口に来たことがあったので、マイナンバーカードを活用して、手続きが簡素化できればいいなと感じた。</li> </ul>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ ご意見として参考にさせていただきたい。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ ICTリテラシーの向上の関係で、高齢者への普及活動の話があったが、高齢者の方でもスマホを使いこなせる方がいて、高齢者同士の方が分からないことが分かるので、そういった方々をうまく組織化して、協力してもらうことも大事だと思う。</li> </ul>

発言者	発言内容
委員	・ぜひ検討していただきたい。
委員	・特定疾患に関する手続きを行った経験があるが、医療・福祉関係の手続きはいまだに手書きで、医療・福祉関係の手続きとなると個人情報の取り扱いの関係でデジタル化することがなかなか難しい面があるのかもしれないが、医療・福祉分野も関係機関と連携して、デジタル化が進めばいいと感じた。

【別紙】

令和5年度第1回鹿児島市DX推進委員名簿

No.	役職	氏名	所属		備考
1	委員長	モリ クニヒコ 森 邦彦	鹿児島大学 特定非営利活動法人 鹿児島インフアーメーション	名誉教授 理事長	
2	副委員長	キド ヒデユキ 城戸 秀之	鹿児島大学法文学部	教授	
3	委員	イムタ マサコ 伊牟田 雅子	特定非営利活動法人 鹿児島インフアーメーション	会員	
4	委員	カガワ アサミ 香川 麻美	KCS鹿児島情報専門学校	学科長	
5	委員	コモリ ヒサン 小森 久	日本政策投資銀行 南九州支店	次長 兼 企画調査課長	
6	委員	タケダ セイジ 武田 正児	公募委員		
7	委員	ニッタ ヤスヒロ 新田 安弘	公募委員		※オンラインにて出席
8	委員	フチダ タカヤス 淵田 孝康	鹿児島大学工学部 鹿児島大学情報基盤統括センター	教授 副センター長	
9	委員	マツモト 松元 まや	一般社団法人 鹿児島県情報サービス産業協会	理事	
10	委員	ミツエダ ショウコ 三枝 祥子	公益財団法人 かごしま産業支援センター	鹿児島県よろず支援拠 点コーディネーター	